

じしょう ようちん 通信

vol.36

企画・編集：(株)ASO



焼いも大会

幼稚園の畑でとれたまいもさん
大きな大きなたき火の中で
ホックホックのあま～い
焼いもさんになりました♡



おいしいよ！
あまいよ！
ほっかほっかだよ！



焼いも大会より (11月)

サツマイモは、大きな焚き火で焼き上げます。



外で食べるって最高♪
みんなと一緒に食べるのもとっても美味しいね！



「おいもはまだかなあ〜」。
ちゃんと座って待ちます。



「見て〜♪おイモが出てきたよ〜」



「おいしいーい♪」「あま〜い♪」



やまいも、やまいも〜♪おなががゲー♪
みんなでお収穫したサツマイモ。
大きな焚き火で焼くから、
甘くておいしい〜！

5月にみんなで植えたサツマイモの苗がぐんぐん育ち、立派に成長。
11月7日、収穫したサツマイモを使って、待ちに待った「焼き芋大会」が
開催されました。青空の下、美味しそうに焼きいもを頬張る子どもたちの様
子をお届けします。

焚き火に向かって、
お芋をポーン！

秋の恒例行事となっているのが
「サツマイモ掘り」と「焼きいも大会」
です。5月に植えたサツマイモの苗
が大きく成長すると、みんなで畑に
出かけて収穫します。そのサツマイ
モを、大きな焚き火で焼いて食べる
のが「焼きいも大会」です♪

先日、園の畑で収穫したあと、少
し寝かせて美味しくしたサツマイモ
を、焚き火用に準備するのは年長さ
んのお仕事です。水に浸した新聞紙
を破れないように両手でそっとバケ
ツから取り出すと、テーブルの上に
広げ、ひとつひとついいねいに包ん
でいました。さらに、アルミホイル
で巻いたら準備OK！

一人一個ずつアルミのお芋を手
にした年少以上の子どもたちが、大き
な焚き火の中に順番に投げ入れまし
た。高温の灰に向かって「ポーン！」そ
うそう、上手じゃうず」。なにもか
も初めて体験する年少さんも、先生
と一緒に「おいしくなれ♪」と言
いながら、頑張って投げていました。
目の前で大きな火を見るのも、焚き
火で「焼きいも」を作るのも貴重な
経験です。

経験です。

ホクホク、アツアツの
サツマイモは
どんな味がな〜♪

春から初夏にかけては、タケノコ
掘り&タケノコご飯、サツマイモの
苗植え、いちご摘み、さくらんぼ摘





焚き火に向かってサツマイモをポーン！
「おいしくなれ！」



数年後にはお手伝いができるようになる2歳児
さんも、焼きいもパーティーに参加。



苗植えから収穫まで一連の流れを体験することで、食べ物への興味と感謝の気持ちが育ちます。

濡れた新聞紙を巻くのは年長さん。「こうやって巻くんだよ」と真剣そのもの。

「みんなで作ったサツマイモが、
こんなに美味しそうな焼き芋になり
ました。どうぞ召し上がれ♪」「い
ただきまーす！」。みんなと一緒だ
から、ますます美味しい。そして楽
しい♪ 気持ちのいい秋空の下、焼
き芋を頬張りました。「甘いねー」
「おいしいね」。満足そうな子どもた
ちの笑顔が園いっぱいに広がしまし
た。

み、ジャガイモ
掘りなど。夏は、
びわ摘み、とう
もろこしや
ナスの収穫。
秋は、栗拾い&栗ごはん、カレーパー
ティ、大根掘り。というように、園
の食育カレンダーは、「収穫と料理」
の予定でギッシリです。
焼きあがるまで約1時間。自然な
甘みがあり植物繊維やビタミンCが
豊富なサツマイモは栄養満点。今年
のお芋はどんな味がするのかな？
焼きあがったサツマイモを取り出
し、アルミホイルと新聞紙をきれい
に剥がすと、プーンという匂い。湯
気とともに、アツアツの黄金色に光
るサツマイモが現れました。食べや
すい大きさにカットされたお芋を受
け取った子どもたちは、大事そうに
運んで、園庭の端に一列に並んで座
りました。

この日の年長さんは、近くの畑ま
で徒歩で出かけ、さらにお芋を収穫
するなど大忙し。両手で、一生懸命
に掘り出したサツマイモは、かなり
の大きさとかんりの量でした。



自然に恵まれた環境を 活かして「食育」を実施

このあと「カレーパーティー」「サ
ンドイッチパーティー」「よもぎだん
ご」など、冬から早春にかけて、食
育イベントが開催される予定です。
園の畑や庭で収穫した野菜や木の
実は、大きなかまどで煮炊きして、
採れたてを調理して食べるのが園の
特徴。

自然に恵まれた環境で、園生活を
送る慈照の子どもたち。「苗を植え、
育て、収穫し、採れたての食材を調
理して食べる」という一連の流れを
体験することで、食への関心や興味
を高め、自然の恵や命の大切さを育
んでいます。



「掘ってきたよ〜」。
年長さんは、ニンジンも収穫も体験。

親子バトルにも、子どもの言いなりにもならない 子どもの「ダダこね」にどうつきあう？

ごはんの時間だから、もう帰ろう」「ヤダー！まだ遊ぶ」「おやつは1つだけよ」「ヤダヤダ！もっと食べたい」…。「自分はこうしたい！」という気持ちは、自立した人生を歩むための原動力。子どものダダこねを上手に受け止め、親子で前向きに乗り越える方法を探ります。

お話／日本抱っこ法協会 公認ホルダー 阿部優美先生



ダダこねっ子の心の中は？

「ダダこね」は自己主張と自己コントロールの練習



子どもはいずれ社会に出ていきます。幼稚園などの集団に入ったりすると、そこでは、自分を主張したり、相手の主張を受け入れたり、自分をコントロールしながら、まわりと折り合っていかなければなりません。ダダこねが激しくなる2～3歳は、その準備期間として、ママを相手に、自分の気持ちをぶつけて、折り合いをつけていく練習をしているのです。

大好きなママに「こうしようね」と言われ、「ウン」と言いたい気持ちもあるのですが、どうにも自分のやりたい気持ちがゆずれず、自分を通そうとするヤダヤダの方だけが表面化します。でもヤダヤダに十分つきあってもらえると、「ウン」と言いたい気持ちも出て来れます。

たとえば大人でも、失恋をしたときなど、「しかたない」と現実を受け入れる気持ちはあっても、どうにもおさまらない気持ちがもう一方にあるはず。そのどうにもならない気持ちを、誰かに聞いてもらったりしながら、泣いて泣いて、泣くことで未練を断ち切って、前に進んでいきます。

子どもも同じで、毎日が失恋の連続です。ママのおっぱいに失恋、お友だちのおもちゃに失恋、お菓子里に失恋、公園に失恋。失恋のつらさをママに聞いてもらいながら、泣きながら、前に進んでもらいましょう。そうやって、思い通りにならないことがあっても、自分の気持ちをコントロールできるようになっていくのです。



ダダこね対応の「きほんのき」は？

言葉で共感しながら、体でも受け止める

まず、子どもの主張には、しっかり耳を傾けましょう。「もっと遊びたい」「もっとお菓子食べたい」という要求には、「遊びたいんだね」「食べたいんだね」と、その「気持ち」は受け止めたうえで、できない理由を簡潔に伝えて、「だから、こうしようね」という親の言い分を受け入れてもらいます。

そうやって生活のルールや社会のルールを身につけていくのを助け、導くやりとりが「しつけ」であり、親の役目なの

です。

もちろん、子どもは言い聞かせても、すんなり「わかったよ」なんて言ってくれません。子どものヤダヤダが始まったら、もう子どもは「頭ではわかって、心がどうにもならない状態」です。ワーワー泣いたりジタバタして、ママに気持ちをぶつけてきますから、しっかり受け止めましょう。

「ママ嫌い！」「あっち行け！」などと言ったりしても、本当はママを否定したり、困らせたいわけではなく、どうにもならない気持ちに身もだえしているだけです。

ママをぶつたり蹴ったり体ごとぶつけてくる場合は、子どもを加害者にしないように子どもの手を握ってぶつのを止めたり、体ごと抱き止めたりしてママが嫌だと思ふことはさせないで、心の中のモヤモヤをママの体になすりつけるように発散してもらいましょう。思い切りヤダヤダが言えると、納得してママの言い分を受け入れる気持ちの余裕が生まれます。

ママに言葉や体で受け止めてもらおうと、子どもは「自分の気持ちを受け止めてもらえた」という安心感やママへの信頼感が深まり、自分の気持ちのコントロールの練習にもなり、かつ乗り越えられた自分としての自信にもつながっていきます。そう考えると、「うんうん、いっぱい泣いていいよ」「ダダこねはチャンス！」と思えてきませんか？

うまくいかないときはどうしたら？

時には距離を置いて見守るのもアリ



ダダこね対応の正解は、一つだけではありません。外出先などでは、とにかく抱っこしてその場を立ち去るのが現実ベストかもしれませんし、ジタバタしても大丈夫な状況なら、「わかった。じゃ、好きなだけ気持ちよくダダこねしなさい」と、しばらく見守るのもアリだと思います。

もし、ママ自身が「もう無理！ 付き合えない！」といっぱいいっぱいになってしまったときは、ダダこねする子どもとなりに寝転がって、「お母さんもヤダヤダ！」といっしょになってジタバタしてみるのもオススメです。「ヤダヤダヤダ……」と思いきり発散したあと、「ああ、ダダこねしてスッキリしたね」と笑い合う。そんな関係が作れたら、親も子ども煮詰まらずにすみそうです。

取材・文／中島恵理子



阿部 優美 Yumi Abe

日本抱っこ法協会公認ホルダー、言語聴覚士。「子育てを一から見直すプロジェクト」メンバー。子育てで悩むお母さんの相談を中心に、3歳児健診、保育園の巡回相談などに携わるほか、子育て関係の講演、保育・福祉に携わる職員研修など積極的に活躍中。心の相談室「とうげのちゃや」(東京・府中市)主宰。
<http://tougnochaya.blogspot.jp/>



「ダダこね育ちのすすめ」
ダダこねについて、よりくわしく知りたい方へ。購入方法は、日本抱っこ法協会ホームページをご覧ください。
<http://dakkohou.com/>

発行：(学)大乘学園 幼保連携型認定こども園

慈照幼稚園

〒379-2117 前橋市二之宮町1812-7

☎ 027-268-2557

<http://www.jisho.ed.jp/>